

一 般 質 問

※原稿は市長部局の答弁も含めて各議員が作成しています。

(4面～6面) 9月4日、5日、6日、7日

会 派 の 略 称

(自民党・信頼) 自由民主党・信頼の小金井	(情報公開) 情報公開こがねい
(日本共産党) 日本共産党小金井市議団	(改革連合) 改革連合
(公明党) 小金井市議会公明党	(生活者ネット) 生活者ネットワーク
(みらい) みらいのこがねい	(こがあす) 小金井の明日をつくる会
(こがおも) 小金井をおもしろくする会	(市民カエル) 市民といっしょにカエル会
(市民会議) こがねい市民会議	(緑・つながる) 緑・つながる小金井

休日診療のための当番薬局を事業化しないか



小林正樹 (公明党)

①市が委託をして医師会・歯科医師会に休日診療を当番制で実施して頂いている。薬局は、長年にわたって、自主的に薬剤師会に開けて頂いている。多摩26市中では17市で何らかの補助などの対応がなされている。処方せんを持った市民が安心して休日に薬を購入できるような小金井市でも事業化しないか。

総務部長 河川から離れた場所での浸水対策とそれに伴う訓練の必要性は感じている。より多く参加いただけるよう消防署とも連携協議しながら検討する。

②毎年5月に都立武蔵野公園野川第2調節池で総合水防訓練が実施されている。参加者が固定化されている。「都市型水害」を意識して多くの市民の方が参加できるように様々な場所での開催について検討ができないか。

福社保健部長 本市においても重要課題と考える。必要財源の確保に努めながら内部で検討したい。

子ども発達支援施策の事業総括をしないか



鈴木成夫 (みらい)

児童発達支援センターきらりの実施事業は、利用対象者のニーズを満たしているか。(ア)巡回相談の現状と課題解消に向けた考えは。(イ)開設5年を機に、事業詳細計画を見直ししないか。

福社保健部長 (ア)提供しているサービス内容については、一定程度高い評価をいただき、それなりにお応えしているが、市内対象施設全てに対し巡回を行うことは、専門職の人員的にも施設キャパシティも状況から、かなり難しい状態になってきている。今後、人員体制や関係機関とのネットワークを更に充実させ、

一層の発展に努め、早期発見について、児童発達支援センター運営協議会と一緒に手だてを検討しなければいけない思いがある。また、児童発達支援センター運営協議会から小・中学校との連携にはまだ課題があることのご指摘もあり、より一層連携に注力する必要があると考えている。(イ)将来的に計画更新も必要となることを視野に入れ、未着手事業の検討を早急に行い、また療育機関につながるような、発達に心配のある児童のニーズの集約、把握のためには、巡回相談のように、児童発達支援センターから外向いていくことが必要な方策と考えている。

読書環境向上へ図書館団体貸出しの改善を



沖浦あつし (こがあす)

(ア)図書館の団体貸出しサービスを利用する場合は任意であるが、全く利用をしていない学校がある。その理由は。(イ)一度利用を止めてしまうと復活しづらい制度になっている。特に選書に關して負担を感じる人が多いためではないか。あらかじめバック詰めしたものを提供し、貸出状況を確認し、参考にするなど、状況も伺う。団体貸出しパック方式にした場合、保管場所や作業場所も必要になり、適所がないのが現状だが、今後柔軟に検討していく。

生涯学習部長 (ア)利用していない学校、学級があることは認識しているが、その理由については把握していない。(イ)他市の事例もあり、本市でも実施できるか調査、検討している。図書館本館でこの2学期の団体貸出しから、一年生用に、団体貸出しパック30冊詰めを9箱作った。貸出状況を参考にして検討を進める。(ウ)未利用の学校には訪問する機会に案内するなど、状況も伺う。団体貸出しパック方式にした場合、保管場所や作業場所も必要になり、適所がないのが現状だが、今後柔軟に検討していく。

成果に応じて支払う社会貢献型投資活用を



宮下 誠 (公明党)

社会貢献型投資、ソーシャル・インパクト・ボンド(SIB)は、世界に広がっている。世界に広がるにつれて、世界に広がる投資スキームだ。これは、行政が担い切れない社会サービス、専門性の高い民間やNPO法人に委託し、事業の社会的価値、成果に応じて行政が対価を支払う仕組み。今年6月に閣議決定された未来投資戦略2018では、SIBの活用と普及に向け、内閣府による分野別や分野横断的なガイドラインの策定を明記し、政府は更なる普及へ力を注いでいる。既に八王子市では、大腸がん検診の受診率

向上のため、SIB手法を導入している。こうした取り組みは、行政のお金の使い方という面で意味がある。我が市でも活用しないか。

企画財政部長 調べたところ、神戸市ではSIBを活用して、糖尿病性腎症重症化予防事業として取り組んでおり、目標以上の成果となれば、成果報酬を支払っても医療費適正化効果の4倍もの財政効果が得られると期待されている。本市としては大いに参考になる。今後、市政にいかせるよう研究したい。

福社保健部長 まずは先行事例の経緯等の条件を勉強したい。初めての提案であり、しっかりと受止めたい。

川崎平右衛門研究会を誘致しよう



篠原ひろし (改革連合)

徳川吉宗、大岡越前の命により現開野町に拠点(陣屋)を置き、武蔵野から現埼玉県に至る武蔵野台地の新田開発に尽力し、成し遂げた川崎平右衛門は二宮尊徳に勝るとも劣らない業績を残した。その業績を確認し、また評価して現代にいかす研究会が2年前に発足している。

生涯学習部長 川崎平右衛門の業績は質問のとおりで小金井市の象徴である。川崎平右衛門を中心として玉川上水に植えたのが始まりである。功績を広める目的の研究会の催しには教育委員会としてもその趣旨に大いに賛同する。

人と組織のデザイン 女性管理職比率について



白井 亨 (こがおも)

女性管理職比率の高さは業績に影響するという民間の調査データもある。小金井市の女性管理職割合は13.6%で多摩26市中16番目と少し低い。(ア)市の女性管理職比率に対する目標は。(イ)女性に関する昇進意欲に課題があるのではないか。(ウ)民間の調査・分析によると女性昇任意欲を引き下げているのは「不平等」「長時間労働」とある。市でも女性の昇任意欲を育む職場環境作りのための実態調査・分析をしてはどうか。(エ)結局は多様性が課題である。今後どう取り組むか。

総務部長 (ア)女性職員の内、昇任試験申込率を主任職35%、係長職25%という目標にしている。昨年実績はそれぞれ26.9%、15.9%である。(イ)係長職・主任職の昇任試験への申込率が低いことから、昇任意欲が高いとは言えない。管理職者としての仕事のやりがい等が浸透しておらず、ワーク・ライフ・バランス等の点で仕事量が多いと思われる。点で仕事量が多いと思われる。点で仕事量が多いと思われる。点で仕事量が多いと思われる。

職員へのAI勉強会を 災害時SNS活用を



吹春やすたか (自民党・信頼)

①日々様々な分野でのAIの頻繁な活用状況が報告されている。行政にも、その流れはある。他の自治体では様々な事例で取組が進められている。本市でも、先進事例に倣い、AIの導入を進めるため、庁内の幅広い部署から若手職員を集め勉強会を発足しないか。

企画財政部長 こがねいあした研究所や自主的な集まりが考えられる。先進事例に注視し研究に努めていく必要があると考えている。

②西日本豪雨では、逃げ遅れて命を落とされた方が多数いる。中間報告では再三出ている警告よりも、逃

げなくても大丈夫だということを探し、逃げないことを結論付けたとある。スマホの普及と利用は高齢者間でも目立っている。災害発生時は膨大な情報が飛び交い、情報の整理に手間と人員を割くことが被災地では多く見られている。逃げ遅れを防ぎ、災害への対応の為にSNSを有効な情報の受信と発信ツールとして利用しないか。また、防災訓練でも活用しないか。

総務部長 SNSでの情報収集の活用規定はない。災害時にSNSで市民からの情報を収集することの重要性は市も把握している。総合防災訓練への取入れは今後の検討課題としたい。